

ごあいさつ

—そこに住む人の生命と財産を守りたい—

35年間ハウスメーカーに勤務し、そこで携わった住宅の基礎と地盤がトコトン好きになり、生涯貫きたくになりました。それは基礎と地盤が、そこに住む人の安心の根底にある事を痛感したためです。このような事から早期退職して2005年4月に「そこに住む人の生命と財産を守りたい」との思いで創業しました。具体的には「住宅の不同沈下（傾き）を防ぎたい」との思いを叶える仕事を16年間続けてきました。この間にご支援頂きました方々に心からお礼を申し上げます。

数年前から自然の猛威による住宅被害が頻発するようになりました。「新築時の地盤性状や標高は未来永劫変わらない」これが従来からの住宅地盤に対する考え方（前提）です。しかし、自然の猛威で前提が崩され（地盤性状が大きく変質された）、被災した多くの宅地を見る度に、新築時の地盤対策だけでは、自然災害に脆い事に気づきました。平時の傾きであれば保証制度が適用され、住宅オーナーに修復費の金銭負担はありませんが、自然災害の場合は免責となり、住宅のオーナーが全て負担しています。

—自然災害からの減災で社会貢献したい—

「平時に家を傾かせないのは当たり前、これからは自然災害から住む人を守る基礎と地盤」を次の事業目標とし、小さな会社の小さな声ですが、多くの方々に訴え、賛同して頂ける方を増やし、住む人にも建てる人にも安心を届けられる技術集団を目指してゆく所存です。今後共、ご指導、ご支援を切にお願い致します。

代表取締役 高森洋

住宅の傾き（不同沈下）や地盤沈下等の裁判用意見書を執筆しています

一般の方も工務店等の施工業者の方も…
家の傾きや地盤に不安をお持ちですか？
地盤や基礎のことで困っていませんか？

- 家が傾いてしまった
- 中古で買った家が傾いていた
- 地盤沈下で庭が陥没した
- 大雨で擁壁や石垣が動いた
- 庭に大きな地割れが発生した
- 庭の水位が高く、いつもジメジメしている
- 基礎コンクリートにひび割れが多数発生した
- 地震で壊れた住宅の基礎に瑕疵があったと訴えられた
- 隣地の造成工事で大きな振動があり、擁壁が動いた
- 傾いた原因が造成か？建物か？でもめている

問題を解決する最後の方法が裁判

—意見書には優劣があります—

裁判では訴えた方（原告）に立証責任が有ります。「家が傾いた（不同沈下）から修復費用を支払え」と主張しても認められず、傾いた事を論理的に裏付けるためには、「専門家が書いた意見書」が必要です。また、訴えられた方（被告）も論理的な反論意見書が必要です。従って、意見書の優劣が裁判の行方を大きく左右します。

住宅基礎地盤の先駆者として住宅会社で35年、弊社創業から16年、合計50年以上の経験に加えて、2007年10月から2017年9月末まで大阪簡裁・地裁で民事調停委員（住宅地盤専門）を10年間勤めた経験を基に、家の傾きや地盤の沈下等の論理的真相を記した「有効な意見書※」を作成しています。最近では、弁護士からの依頼も多数頂いております。

※ 発生している現象、経緯、その原因、瑕疵の有無、修復の可否、修復可能なら修復方法と費用等を法律、公的基準等に照らして記述している意見書

—WASCの意見書の特徴—

- ① 住宅会社に35年勤務した経験が「DNA」
- ② 調停委員10年の経験が「血と肉」
- ③ 意見書執筆の多さとその結果が「日々のエネルギー」
- ④ 「公正」「中立」「緻密」「読み易く」「納得し易い」が大原則

—意見書執筆までのプロセス—

- ① 全国どこでもお掛け致しますので、まずはお気軽にお電話もしくはメールでご連絡ください TEL：072-625-3630 / E-mail：info@wasc-lab.jp
- ② お伺いした内容から、1) WASCで出来るか？ / 2) 立証できるか？ / 3) 現場を見る必要があるか？ / 4) 現場調査が必要か？等を判断させて頂き、その後は適宜打ち合わせながら進めさせて頂きます。

会社概要

 株式会社 WASC基礎地盤研究所	会 社 名 株式会社WASC基礎地盤研究所
WASC ホームページ 	代 表 者 高森 洋
Facebook ページ 	所 在 地 〒567-0881 大阪府茨木市上中条2-5-37 すばるビル202
YouTube ページ 	所 連 絡 先 TEL：072-625-3630 / FAX：072-625-3631 / E-mai:info@wasc-lab.jp
	U R L http://www.wasc-lab.jp/
	設 立 2005年4月11日
	資 本 金 2,000万円
	技 術 顧 問 松岡 元（名古屋工業大学名誉教授）【土質】
	杉山 雅（北海学園大学工学部建築学科教授）【コンクリート】
	所 属 団 体 日本建築学会 / 地盤工学会 / 低平地研究会
	公 的 資 格 一級建築士 / 二級建築士 / 一級土木施工管理技士 / 測量士 / コンクリート技士 / 技術士補

- Facebookページでは、色々な情報を不定期で更新しています
- YouTubeに過去の基礎塾での施工実演の様子等をUPしています
- 是非「いいね」お願いします！！

住宅の不同沈下防止がWASCの仕事です

そこに住む人の生命と財産を守りたい



株式会社 WASC基礎地盤研究所



40年以上前に見た礎石と柱脚がWASCの業務の「原点」です

傾いた時に直しやすく...それも対策

モードセル工法

#特許登録済 #商標登録済 #不同沈下対策
#安価 #短工期 #費用対効果

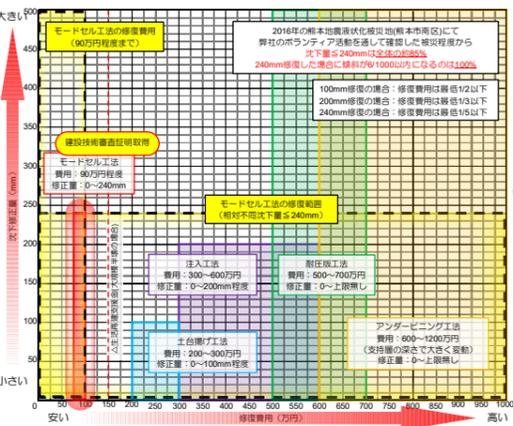
液状化で不同沈下した戸建て住宅の修復方法は主に4種類ありますが、その中で「土台揚げ工法」をより効率的かつ容易に行える様に工夫した工法で、従来工法で問題となる本来の基礎の強度を損なう事の無い修復作業が安価で可能になります。

戸建住宅の不陸修復工法として国内で初めて建設技術審査証明を取得しました。傾いたその時に現実的な対策で修復時の経済的負担を軽減します。

審査証明番号：BL 審査証明-026 / 取得年月日：2016年11月8日
 認定番号：CBL M1001-14号 / 取得年月日：2015年3月31日

- 最大相対沈下量 ≤ 240mm ※1
- 最大相対傾斜角 ≤ 50mm/m ※2

※1 土台土質や納まりにより変更あり
 ※2 1m当たり50mmの傾斜...大規模半壊の上層部



今日からすぐ役立つ 住宅地盤工学実践道場 基礎塾

#実物を見て #実物を触って #実際に体験して #ここでしか聞けない実態

専門書の中味を繰り返し説明するのではなく、長年の実務からの成功・失敗経験を元に、家を傾かせない実務技術を・実物を見て触ってもらって、分かり易く楽しく解説しています。



WASC設立

2005年 福岡県西方沖地震 台風14号

2006年 平成18年豪雪

2007年 能登半島地震 新潟県中越沖地震

2008年 岩手・宮城内陸地震

2009年 中国・九州北部豪雨

2010年 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) 紀伊半島豪雨 新潟・福島豪雨

2011年 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) 紀伊半島豪雨 新潟・福島豪雨

2012年 2012年

2013年 2013年 台風26号 (伊豆大島土砂災害)

2014年 2014年 広島豪雨

2015年 2015年 関東・東北豪雨

2016年 2016年 熊本地震 台風7・9・10・11号

2017年 2017年 九州北部豪雨

2018年 2018年 大阪北部地震 北海道胆振東部地震 西日本豪雨

2019年 2019年 九州北部豪雨 台風15号 台風19号

2020年 2020年 「wasc-Mat基礎」開発

2021年 2021年 熊本地震 / 2016年 液状化被災地での被災住民への説明

ベタ基礎を進化させた 新たなベタ基礎

wasc-Mat基礎

#特許登録済 #ベタ基礎 #防蟻 #減災 #耐久性向上 #模様

何気なく長年施工されている一般的なコンクリート2回打ちのベタ基礎で問題となる打ち継ぎ部分の施工方法を改良した新たな住宅用ベタ基礎工法です。

これにより打ち継ぎ跡が見えなくなる美観上の改善だけでなく、次のような様々なメリットが生まれます。

- 打放し仕上げも可能
- モルタル刷毛引き不要
- (塗装仕上げの場合)下地処理が不要
- シロアリの侵入を阻止
- 凹凸模様のために断面が10mm厚い → 中性化時間が延びる
- 打ち継ぎ部分からの雨水侵入阻止
- 高基礎にも対応可能 → 浸水阻止
- ひび割れを自立ち辛く出来る
- 表面に凹凸模様を施せる

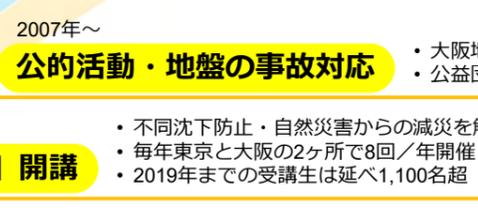
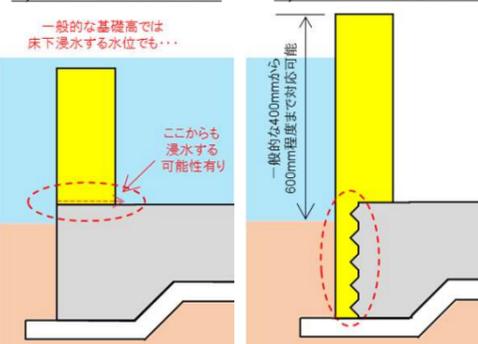
省力化 短工期

耐久性向上

減災

美観向上

A) 現行の施工方法の断面 B) wasc-Mat基礎の断面



鹿児島(鶴丸)城の御楼門復元工事では、500年先まで不同沈下させない思いを込めて版築地盤を築きました

2019年~

「宅地の減災・共生研究会」発足

- 減災を提唱する有志の集まり(正会員12社、賛助会員5社)
- 自助の為の減災への啓蒙や工法等の開発・普及を進める

2018年

鶴丸城御楼門版築工事の素案作成

2018年

「クイットメル工法」開発

2016年~

熊本地震液状化被災地で支援活動

2016年

「モードセル工法」建設技術審査証明取得

2015年

「モードセルアンカーボルト」評価取得

2014年

「モードセル工法」開発

2013年

「モードセル工法」開発

2012年

「モードセル工法」開発

2010年~

改良土の品質確認

2009年~

新工法の開発支援

2007年~

公的活動・地盤の事故対応

2006年~

工法・部材の開発

2005年~

執筆活動



これまで...これからも...

そこに住む人の生命と財産を守りたい

2020年

詳細は左をご覧ください

「wasc-Mat基礎」開発

2020年

令和2年7月豪雨

2019年

九州北部豪雨 台風15号 台風19号

2017年

九州北部豪雨

2015年

熊本地震 台風7・9・10・11号

2015年

「モードセルアンカーボルト」評価取得

2015年

Zマークアンカーボルトと同等性の評価書

2015年

「モードセル工法」開発

2015年

Zマークアンカーボルトと同等性の評価書

2015年